別協推委第９号
令和８年１０月１日

別府市長　　長野　恭紘　様

別府市協働のまちづくり推進委員会
委員長　　吉　澤　清　良

令和７年度協働のまちづくりの推進に関する
施策の実施状況評価結果について

別府市協働のまちづくり推進条例第１０条第１項の規定に基づく施策の実施状況について、同条第２項の規定により、当委員会の評価を取りまとめましたので、下記のとおり報告します。

なお、今後の協働のまちづくりの推進に関する施策の執行にあたっては、下記の評価結果に配慮され、引き続き目的の実現に向け取り組まれるよう要望します。

記

1　啓発活動及び人材育成の推進について

市職員の研修や市民対象の地域づくりシンポジウムの実施を通じて、協働の意識醸成に努めている。市は引き続き、職員や市民の地域活動への参画の推進や地域運営組織等の横のつながりを強化するため、職員研修や市民対象の講演会等のより一層の充実を図り、協働意識を浸透させる取組を実施していただきたい。

2　市民と市の相互理解の推進について

情報発信手段が多様化する中、市報による周知が効果的ではあるが、若年層への周知・広報が課題である。市は、若年層の地域活動への参加を促すため、SNS等を活用した広報を強化するとともに、魅力ある地域活動の創出等を支援することにより、効果的な情報発信を行い、相互理解の推進に努めていただきたい。

3　体制づくりと支援策の推進について

市内７つのひとまもり・まちまもり協議会、市、民間企業等が連携し実施した「別府まるごと　ひと・まち社会見学会」は、地域と企業等との新たなつながりを構築し、連携体制の強化に寄与した。「ひとまもり・まちまもりコーディネーター」を活用し、地域と企業等との継続的な関係の構築を支援することにより、多様な主体の連携を一層強化し、引き続き中規模多機能自治を推進していただきたい。

4　環境整備について

市は、市民活動団体の公益的な活動を支援する「べっぷの未来まちづくり支援補助金」について、申請手続きの簡素化を行うなど制度の改善を進めている。今後は、さらなる認知度の向上を図るとともに、利用者の意見を踏まえ、より利用しやすい制度設計に努め、長期的な視点に立って、団体の組織強化も見据えた環境整備を進めていただきたい。

5　取組の評価や見直しの推進について

市は、多様な分野においてNPO等との協働事業を実施し、定期的に事業の実施状況を把握している。一方で、事業の効果を測る上では、単年度の状況のみならず中長期的な視点に立って、住民の意識や行動の変化を把握することも必要である。また、行政、地域、NPO等のそれぞれの役割を適切に認識し、相互に連携、協力し、持続可能な地域づくりの実現に向けた取組を進めていただきたい。